



特別  
子 12  
3643  
106





多遊

ヤア進同四字ある

カヲノニ  
ゆあつけきりりきのおまづこ太敏  
つきてなせし

いさや進ふよ

ワウきのえつみたいこうりほしてたせし

てワウきろとろまところあながるのどすうたせ

いさや進ふよ

んこのつらいの

つつけきりりきのおまづこ太敏  
つきてなせし

土車

いさや進ふよ



梅若誠太郎  
昭和四年五月廿日  
梅若重戸氏  
寄贈







浮心増し又

江

紅綿繡の山粧のとあをのみえりも

お着

人よあそいにもせり

那那

夏と山雲乃人とのあそりゆきなる

消と世にフル落し事

二井の窓の舟もやうららむ

花逢

あせや天窓を太神宮 唱せ給いつ

只思ひの泪津糸の袂をぬくは

うねるんしてさりきふ

三

うね

きよゆりき 遊水すうううううう 而作たまあり

芭蕉糸乃もろくも落る 露のちハ

松尾 つたきむらうつけハあそりう、う、う、あつとのよられ

ちりんあや

頼政 平町斗りおゆつとあさるて いろはのいとそ







元章抄通  
善教院御云  
全し版  
散世ハ多也  
大念ハ一斤也

小次トメ  
一たを大念一斤也

石を色多しとて視を行地ふと先と

朝長

いづるものとしらふまなりいんせ志いっわりのと

又新子廻り  
三世た方の

大教のし物ふ文字のしを打申と打末と打を一字と申  
所教と打と申すふの一字と教石ソワと何と申す  
張中もねの地物子打もはらふて教へは説もね言ふと申す

大教つ洞も小教もふと修く視大教もろと實中修  
習又小教も一洞も大教もろとろく視小教もろと  
ゆつろり也視の習ふ

視物子物子物子

山の人乃さくり  
ま少し乃むめその

鼓物子  
まそののむめその

まそののむめその

まそののむめその

まそののむめその







あひくかまやのそられ

い

このものあはれまんのやまもそられを  
なるといふもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを

女のいふ

いふをいふ

このまふはつらんかをこら

まゝ或時解とさく  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを

七  
ア  
つ  
ま  
ち  
も  
あ  
ら  
わ

東四屏所止

あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを

花々々

あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを

輝丸

あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを  
あはれまんのやまもあはれまんのやまもそられを

水もあはれまんのやまもそられを



















あつをい  
おのれは  
日む  
の者と

宣政しや  
時二十有八歳  
近義

け書る合方字  
乃ほりうめしめく  
九折と来と次

三井寺

海き  
つら  
ほり  
あつ

つら  
あつ

ほり  
あつ

かみ  
あつ

おき  
あつ



まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす

アツク  
カチ眼  
モアリ  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす

まひりしす

まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす

まひりしすまひりしすまひりしす

外

同杜考

まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす

同杜考

進ム也

まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす  
まひりしすまひりしすまひりしす

進ム







